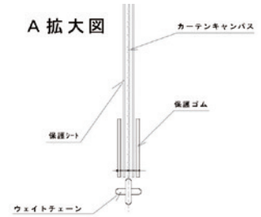
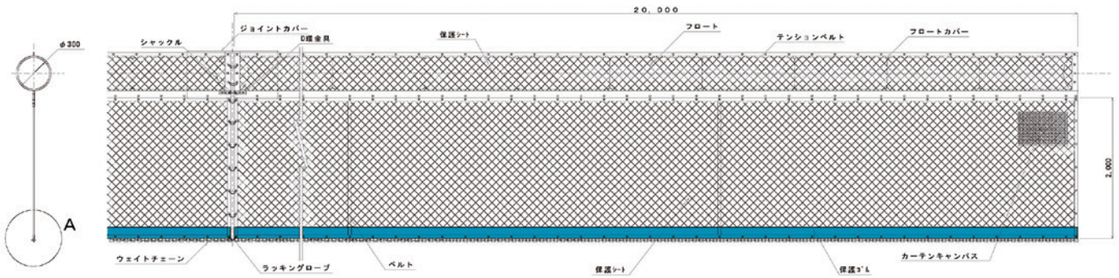
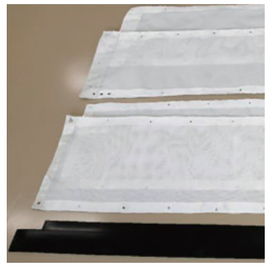
岩礁対応型フェンス

ポリエステル繊維を樹脂でコーティングしたグリッドでフロート部及びカーテン部を挟み込み、耐摩耗性を向上させる事が出来ます。
また、通常のフェンスに簡易的に後付け、使用後に取外しも可能な為、比較的補修（部分的な交換、補修も可能）が容易であり経済性にも優れています。



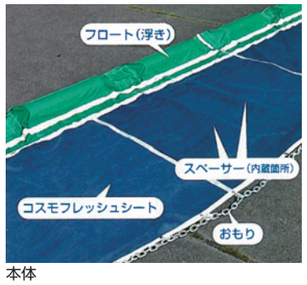




ハイブリッドバリア
ため池・調整池等の放射性物質拡散防止装置

ハイブリッドバリアとは

ため池、調整池等の除染工事、大雨時の流入水、強風等により汚染された底泥が舞い上がり、放射性物質の池外への流出が拡大する恐れがあります。また日常的にも余水吐からの流出水には微量ながら放射性物質が含まれています。
ハイブリッドバリアを池内に展帳することにより、セシウムの付着した浮遊土粒子の沈降を早め、さらに遊水が特殊構造の力ーテン部を透過する際、溶存セシウムを吸着、池外への**放射性物質の流出を減じる効果**が得られます。一般的な汚濁防止フェンスと異なり、**沈降促進と吸着のダブル効果**で水質の環境保全に役立ちます。



本体

余水吐設置状況

透水イメージ

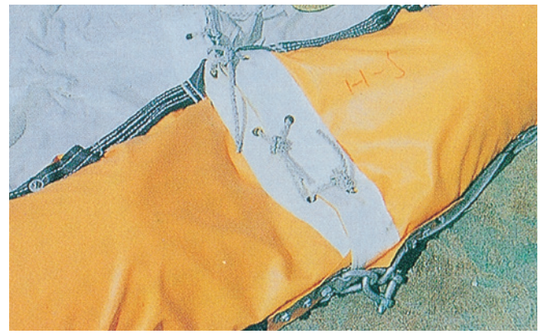
組立作業から展張作業まで

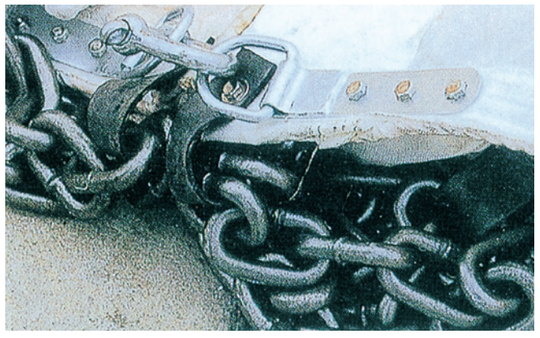
コマロックフェンスは組立も展張も簡単です

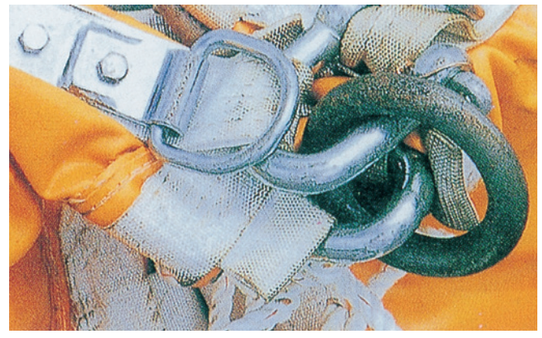
コマロックフェンスは、1～数スパンをほぼ仕上げた状態で出荷します（但し、スパンのジョイント費は別途見積り）。そのため、荷受後の作業が大幅に軽減されます。
荷受けの場所は、使用前の組立作業と海上への曳き出しや台船への積出しがしやすく、しかも布設の現場が近いところを選ぶのが理想的です。

1 コマロックフェンスのスパン連結

フロート部からカーテンの下端までをロープで結び合わせます。テンションベルト部や補強ベルト部等の連結には、シャックルを用います。







2 積出し又は曳航の準備

カーテンを折りたたんでフロートに結びつけます。